

研 究 分 野	資源評価	部 名	漁業開発部
研 究 課 題 名	東通原子力発電所温排水影響調査 海洋生物調査		
予 算 区 分	水産業企画調査費 (広報安全等対策交付金10/10)		
試験研究実施年度・研究期間	H. 15 ~ H. 27		
担 当	吉田 雅範		
協 力 ・ 分 担 関 係	水産振興課		

### 〈目的〉

東北電力東通原子力発電所の温排水が、施設前面海域及び周辺海域に与える影響を把握する。なお、本調査は東通原子力発電所温排水影響調査実施計画に基づく調査項目のうち定置網水温及び主要魚種漁獲動向（サケ）について実施した。

### 〈試験研究方法〉

- 1 定置網水温：サケ定置網に設置（5地区各2ヶ所）して日平均水温を測定した。
- 2 主要魚種漁獲動向（サケ）
  - (1) サケ沿岸漁獲変動：平成16年漁期のサケ沿岸漁獲尾数を集計した。
  - (2) サケ標識放流：サケ親魚の標識放流は、白糠漁港前沖にて平成16年11月9日に33尾（カガ標識21尾、ディスクタグのみ12尾）、11月29日に30尾（カガ標識23尾、ディスクタグのみ7尾）の合計63尾を放流した。

### 〈結果の概要・要約〉

- 1 定置網水温

サケ定置網海域日平均水温は、9月が19.8～21.3℃（昨年18.6～20.8℃）、10月が16.8～20.2℃（昨年16.8～18.8℃）、11月が14.5～16.9℃（昨年14.0～17.5℃）、12月が10.3～14.6℃（昨年12.1～14.4℃）、1月が9.6～10.9℃であった。
- 2 主要魚種漁獲動向（サケ）
  - (1) サケ沿岸漁獲変動

平成16年漁期のサケ沿岸漁獲尾数は青森県全域で224.1万尾（昨年比161.8%）、そのうち太平洋側が150.2万尾（昨年比146.4%）であった。また、白糠漁協と小田野沢漁協の合計値は19.0万尾（昨年比114.2%）であった（図1）。
  - (2) サケ標識放流

再捕状況は、11月9日放流群が11尾、11月29日放流群が3尾の合計14尾であった（表1）。このうち、カガ標識魚の再捕は11尾あり、そのうち8尾について放流から再捕までの生息水温、水深、時間データを得た。水温は3.8～17.3℃、水深は0～229.1mの範囲であった。

〈主要成果の具体的なデータ〉

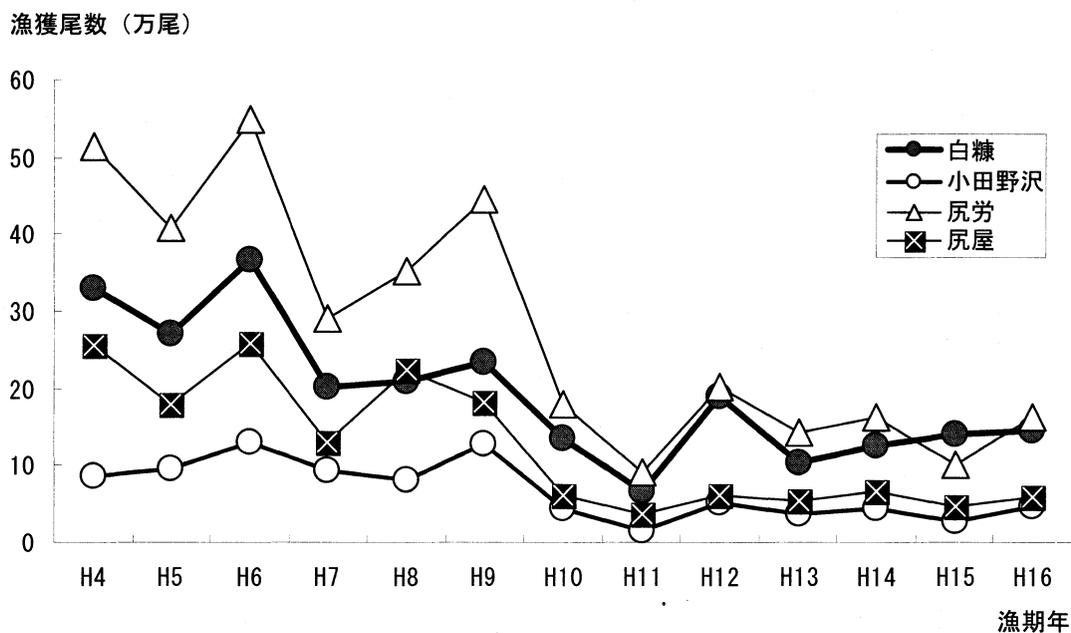


図1 東通村太平洋側各漁協のサケ沿岸漁獲尾数の推移

表1 標識放流魚の再捕結果

No.	放流月日	再捕月日	再捕場所	再捕漁法	標識種類
1	11月9日	11月10日	老部川	やな	ロガー+ディスク
2	11月9日	11月10日	老部川	やな	ロガー+ディスク
3	11月9日	11月10日	老部川	やな	ディスク
4	11月9日	11月11日	市川沖	定置網	ロガー+ディスク
5	11月9日	11月11日	泊沖	定置網	ロガー+ディスク
6	11月9日	11月11日	尻労沖	定置網	ロガー+ディスク
7	11月9日	11月11日	尻労沖	定置網	ロガー+ディスク
8	11月9日	11月12日	石持沖	定置網	ロガー+ディスク
9	11月9日	11月14日	五戸川	やな	ディスク
10	11月9日	11月17日	苫小牧沖	定置網	ロガー+ディスク
11	11月9日	11月17日	野牛沖	定置網	ディスク
12	11月29日	11月30日	老部川	やな	ロガー+ディスク
13	11月29日	11月30日	老部川	やな	ロガー+ディスク
14	11月29日	11月30日	小田野沢沖	定置網	ロガー+ディスク

〈今後の問題点〉なし

〈次年度の具体的計画〉今年度と同じ

〈結果の発表・活用状況等〉

青森県 (2005) 東通原子力発電所温排水影響調査結果報告書平成16年度 (第3四半期).